

	③苦情相談窓口等の体制の明文化と周知	☒ 1.苦情解決体制が明文化され、利用者や関係機関に周知されている。 ☒ 2.苦情相談の受け付け担当者や責任者を明確にしている。 ☒ 3.苦情解決へ向けた第三者委員会が設置されている。 ☒ 4.苦情相談の解決が事業者のみで困難なときは、外部の権利擁護機関などと連携している。 ☒ 5.利用者に外部の権利擁護機関の存在や役割を情報提供している。	
12項目中 12項目		評価結果 (A)・B・C	
(4)利用者の自己実現への配慮	①利用者の意志の尊重と支援	☒ 1.職員や関係者の価値観で決めるのではなく、利用者の意志を尊重するように努めている。 ☒ 2.利用者に合わせたコミュニケーション方法をとっている。 ☒ 3.重度の人の場合、家族からの聞き取りをするが、本人の意志を尊重する努力をしている。 ☒ 4.新しい体験にチャレンジできる機会づくりに努めている。 ☐ 5.地域の行事への参加や、ボランティアとの関わりをもてる機会を作れるよう支援している。	
5項目中 4項目		評価結果 (A)・B・C	
(5)エンパワメントと自立支援	①情報の提供 ②自己選択と自己決定	☒ 1.自立生活(成人期以降の家族からの独立や社会参加促進等)を実現するための、情報をわかりやすく伝えるように努めている。 ☐ 2.自立生活を促進させるため、地域に対して情報の提供や障害者理解への啓蒙活動に努めている。 ☒ 1.自立生活をイメージできる体験の機会をつくるなど、自立に向けての支援に努めている。 ☒ 2.できる限り自分が住み慣れた地域での、生活を継続できるよう支援に努めている。 ☒ 3.自分の暮らしを自己決定できるよう、制度サービスを説明している。 ☒ 4.様々な機会において、自分で選択し、決定できるよう配慮している。	
6項目中 5項目		評価結果 (A)・B・C	
(6)地域との接点	①地域に対するサービスの情報公開と周知 ②サービス調整会議への参画、関係機関との連絡、調整 ③実習生、ボランティアの受け入れ	☐ 1.地域に対してサービス内容の情報を開示している。(パンフレット、掲示板等の活用) ☐ 2.機関誌を発行するなど地域への情報提供、PR等を実施している(年3回以上) ☐ 3.地域に向けての講座や研修等を企画、実践している。 ☒ 1.地域のサービス調整会議に参加している。 ☒ 2.地域の一機関としての役割を意識して、サービス提供をしている。 ☒ 3.日常的に関係機関との連携に努めている。 ☐ 1.実習生を受け入れている。 ☐ 2.ボランティアを受け入れている。 ☒ 3.受入の方針、マニュアル、担当者を明確にしている。 ☒ 4.受入の際、利用者のプライバシーの保護の確保に努めている。	
10項目中 5項目		評価結果 A・(B)・C	
(7)信頼と安全性の確保	①事故や災害発生時への対応や予防、防災への取り組み ②衛生管理、感染予防への対応	☒ 1.事故、災害に対しての対応マニュアルが作成されている。 ☒ 2.利用者、事業所、関係機関等と緊急の連絡が取れるよう努めている。 ☒ 3.事故発生時には、事故の状況が全職員に周知されている。 ☒ 4.事故を未然に防ぐ方法やまた事故発生後の申告書等が整備されている。 ☒ 5.必要に応じ消防署や警察署との連携を取っている。 ☒ 1.衛生管理、感染予防の情報を取り入れるよう努めている。 ☒ 2.利用者、職員の衛生管理、感染予防に努めている。 ☒ 3.必要に応じ医療、保健機関との連携をとっている。	
8項目中 8項目		評価結果 (A)・B・C	